

標準委員会 システム安全専門部会 シビアアクシデントマネジメント分科会
第16回シビアアクシデントマネジメント分科会議事録

1. 日 時 2013年4月9日(火) 9:30~12:00

2. 場 所 原子力安全推進協会 13階 第1,2会議室

3. 出席者

(出席委員) 岡本主査(東大), 杉山副主査(JAEA), 鎌田幹事(原安進), 井田委員(JANUS),
及川委員(東芝), 織田委員(日立 GE), 倉本委員(NEL), 黒岩委員(MHI), 柴
本委員(JAEA), 鈴木委員(原電), 竹越委員(関電), 出町委員(東大), 吉田
(西委員代理(電中研)), 廣川委員(TEPSYS), 深沢委員(JNES), 増田委員(東
電), 守田委員(九大), 涌永委員(中部電)

(18名)

(欠席委員) 阿部委員(東北大), 内田委員(JNES)

(2名)

(常時参加者) 河井(原安進), 森本(NEL), 窪小谷(原安進), 清時(日立 GE)

(4名)

(オブザーバー) 成宮(関電)

(1名)

(敬称略)

4. 配布資料

S2SC16-1 第15回シビアアクシデントマネジメント分科会議事録(案)

S2SC16-2-1 H25年原子力学会春の年会システム安全専門部会セッションの議事録

S2SC16-2-2 H25年原子力学会春の年会システム安全専門部会のプレゼン資料

S2SC16-3 SAM実施基準(案)(本文, 附属書及び解説の改訂版)

S2SC14-4 シビアアクシデントマネジメント分科会のスケジュール(案)

参考1 第15回シビアアクシデントマネジメント分科会議事メモ(案)

参考2 シビアアクシデントマネジメント分科会 委員及び常時参加者

参考3 第15回SAM分科会コメント対応表

5. 議事内容

5.1 出席者/資料の確認

鎌田幹事より, 委員の出席者が18名となり, 定足数を満足していること及び配布資料の
確認が行われた。

5.2 第13回分科会議事録の確認

岡本主査より, 配布資料 S2SC16-1 に基づき, 第15回分科会の議事録について確認が行

われ、正式に承認された。

5.3 春の年会発表について

鎌田幹事より、配布資料 S2SC16-2-1 及び S2SC16-2-2 に基づき、春の年会における標準委員会セッションでの発表について、当日の専門対応の紹介があった。

5.4 SAM 実施基準（改訂案）について

4/12 のシステム安全専門部会で最終報告する前の最後の確認として、配布資料 S2SC16-3 に基づき、まず骨子を確認し、続いて配布資料の参考-3 を用いて前回分科会のコメント対応結果を確認した上で、本文、附属書（規定）の読み合わせを行った。

(1) 骨子について

1 章「適用範囲」から 4 章「アクシデントマネジメントの基本要件」までの骨子部分を対象に、全体を確認した。主な議論は以下のとおり。

- ・ 適用範囲に「等」「など」の例示があるのは好ましくないため、削除可能な例示は削除し、記載が必要な個所は「・・・を含む」といった記述に見直す。
- ・ 3 章「用語、定義及び略語」に定義されているアクシデントマネジメントを参照するような書き振りとし、記載が冗長にならないようにする。

(2) コメント対応結果について

鎌田幹事、織田委員、及川委員より、それぞれ担当箇所のコメント対応結果の説明を行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ コメント番号 3 のサイバーテロの追記について改めて議論した結果、「テロ」というキーワードは避け、「コンピュータソフトウェアの改ざん」という表現とする。
- ・ コメント番号 4,5 に関して、マネジメントクラスに係る記載の構成はもっとシンプルにできればよいが、難しそうなのでこのままとする。ただし、マネジメントクラスの定義が分かりにくいいため、3 章に定義を追加する。AM 設備という用語は 8 章固有なので、附属書 Q に定義を記載する。
- ・ コメント番号 6,11,17 に関して、附属書（規定）W の対象がどこまでなのかわかりにくいので、「必要に応じて・・・を含む」といった記載を追加する。
- ・ その他、防災との関係について、JEAC での対応状況を記載できないか検討する。

(3) 読み合わせについて

本文の 5 章から 14 章の読み合わせを行った。主な議論は以下のとおり。

- ・ 「AM 設備」という用語が本文にもでてくるため、本文 8 章にも定義を記載する。
- ・ 10.1 の e), f) の「要素」が用語として適切かどうか議論となり、f) については「拠

点」とすることとした。

- ・ 「シビアアクシデントへの拡大防止」と「シビアアクシデントの発生防止」が混在しているため、後者で統一することで不都合がないか事務局で確認することとなった。不都合があるようであれば、「シビアアクシデントへの拡大防止（発生防止）」と表記することも検討する。

5.5 今後のスケジュール

本日の修正コメントは至急反映し、4/12 のシステム安全専門部会には、岡本主査、杉山副主査、鎌田幹事が出席し説明対応する予定。

次回分科会は、部会投票でのコメント対応確認の位置づけで 5/28 午前を予定。ただし、次回システム安全専門部会が 5/31 で余裕がないため、コメント対応結果はメールで確認いただくことで了解された。

以 上